

第3回目黒区産業振興ビジョン改定懇話会

日時 平成30年11月15日（木） 午後6時30分～午後8時30分
場所 目黒区総合庁舎地下1階 第一建築調整室
出席者 （委員）
黒瀬会長、岩井委員、奥角委員、小杉委員、諏訪委員、柳本委員
佐々木委員、高野委員、日比野委員、金阿彌委員
（区側・事務局）
産業経済部長、産業経済・消費生活課長、他5人
傍聴者 なし

配布資料 資料1：区内事務所等へのヒアリング結果について
資料2：目黒区産業振興ビジョン改定素案（案）
資料3：目黒区産業振興ビジョン改定素案（案）概要版

議事

1 開会

2 議事

（1）区内事務所等へのヒアリング結果について

事務局より、資料1「区内事業所等へのヒアリング結果について」を用いてヒアリング結果の報告を行った。

委員 商店街のヒアリング結果のなかに「人通りが多いが来街者が少ない」という旨の記述があるが、どのような内容か。

委員 ヒアリングに対応した自分から回答したい。学芸大学駅周辺の商店街は、近隣住民が通勤通学路として通るが、他所から商店街に訪れる人は少ないという意味である。特定多数の人々が顧客になるわけではなく、固定された人々を相手に商売をすることになる。そのため、一般的に言われるよりも多くの常連客を確保しないと店が成り立たない。

会長 学芸大学以外のヒアリング対象となっている商店街はいずれも来街者が多いのか。

事務局 自由が丘と中目黒はそうである。

委員 ヒアリング対象となった商店街は、区外から訪れる人も多い自由が丘と中目黒と、区民の利用が中心の商店街として学芸大学と清水だと考えていただきたい。

委員 目黒区全体で商店街をどのように考えていくのか。

事務局 地域外から多くの人々が訪れる商店街もあれば、そうでない商店街もある。

そうでない商店街のなかでも駅前に立地しているところもあれば、住宅地に立地するところもある。それぞれの特徴に応じた支援が求められると考えている。

- 会長
委員
委員
事務局
会長
委員
委員
委員
委員
会長
事務局
会長
委員
事務局
会長
事務局
委員
会長
- 自由が丘や中目黒の商店会の商店は増えているのか。
- 自由が丘は若干増えている。自由が丘の組織は独特で、いくつかの町会が集まって振興組合ができた。1,300 店舗ぐらいの加盟がある。
- 中目黒は現在調査中である。商店は増えているが、加盟店は横ばいである。最近は商店会のエリアでないところに店舗を構えることがある。それをどうフォローするのか考える必要がある。
- 全体的にみて、駅の近くに立地していない商店会は加盟店が少なく、減っている状況だと認識している。
- 商業以外に何か意見はあるか。
- 農業者は高齢化が進んでいるが、若い女性が農業を継いだ事例もある。区とともに区民が参加できる農業に取り組んでおり、好評を得ている。ただ、相続があると農地は減るという状況だ。
- 若い女性の方が就農したのはどのような経緯か。
- 相続のタイミングで就農された。
- 農業に関して、世田谷区の農業者で農地を貸し出すという話を聞いた。
- 生産緑地は前提として他人に貸してはいけないことになっていた。ただ、法改正がなされて貸し出せるようになった。まだ事例は少ないと思う。
- 製造業については、区内の製造業同士が受発注する例が書かれているが、一般的なことなのか。
- うまくマッチングができれば受発注が発生する。区としても受発注相談員が巡回するなかで、数は多くはないが、マッチングを図ることもある。
- 製造業が減ってきているとはいえ、このような意見があるとまだまだ希望があると感じる。
- 農業に関するヒアリングのなかで助成金を求める意見があるが、区として農家への補助はあるのか。創業に対する支援についても教えていただきたい。
- 区としての農業に関する補助金があるので、周知を図っていく必要がある。創業については、創業希望者向けの講座を行うほか、創業資金の融資あっせんを行っている。また創業にあたっての補助金も区独自に設けたところだ。
- ヒアリングでは人手不足については何か意見は聞かれたか。
- 製造業については意見をいただいている。
- 商店街でもアルバイトが確保できないという状況はある。そのため定休日を増やさざるを得ないという例もある。
- ヒアリング結果によって、目黒区の現状について認識が深まったと思う。

(2) 目黒区産業振興ビジョン改定素案（案）

事務局より、資料2「目黒区産業振興ビジョン改定素案（案）」・資料3「目黒区産業振興ビジョン改定素案（案）概要版」を用いて、前回懇話会からの変更点について説明を行った。

- 会長 外国人人材の雇用について考える必要があるのではないかと。将来のマネージャー候補となる中核人材として外国人を雇用する事例もある。外国人人材を雇用する際の課題は言語なので、たとえば区として日本語能力を伸ばすための支援を行うことはあり得るのではないかと。
- 委員 国の政策として進めていることなので、目黒区だけの問題ではないと思う。国際交流協会は何か取り組んでいるか。
- 事務局 就労支援という観点での取組はないと思う。国の政策動向を踏まえれば考え方は分かるので、課題認識としては取り上げたいと思うが、区の施策として取り組むべきかどうかという点では疑問もある。
- 会長 懇話会はこれで最後になるのか。
- 事務局 パブリックコメントまでの期間では最後となる。ただ、今日以降も意見をいただければパブリックコメント後のビジョン案に盛り込む。
- 会長 了解した。ただ、今日の懇話会は重要なので意見をいただきたい。
- 委員 3つの視点が挙げられているが、「まちの魅力の維持・形成」という視点は具体的には「方針4 魅力にあふれた商店街づくり」と「方針5 地域資源を活かしたまちの魅力の向上」に関連するのか。
- 事務局 方針4・5が中心になるが、それ以外の方針にも関わっていると考えている。「方針1 地域産業の担い手の育成・確保」に位置づけられた施策のなかで事業者の研修が充実していくことも環境の向上になるので魅力になると考えている。
- 委員 3つの視点に沿って新規事業を始めるということではないということか。
- 事務局 事業承継に関する施策は追加されているので、新しいことがないわけではないが、既存の事業をより充実させていくという考え方だ。
- 会長 3つの視点は、個々の施策を貫く横断的な考え方ということだと理解した。
- 委員 外国人人材については、外国人が不法に就労するというニュースも聞く。法律に則った人材確保を行うということが大事なのではないかと。
- 会長 労働力不足だから求められるといっても、一人の人間として待遇しないといけない。だから基礎自治体が労働環境の整備や、言語の問題を解消するという取組をするべきではないかと思っている。
- 事務局 外国人の雇用にあたっては法律に準じて行われるべきである。そのような取組を事業者が行うにあたって、区が何らかの支援を行うことはあり得ると思うので、検討させてもらいたい。
- 委員 商店街のPRについては、ホームページだけでは集客につながらないと考えている。AIによる情報推奨のような先進的な取組への補助があると積極的

な取組ができる。また、多言語対応についても、商店主が言葉を学ぶよりもテクノロジーで解消することもできる。

- 会長
委員
委員
事務局
会長
事務局
委員
会長
委員
事務局
委員
事務局
委員
事務局
委員
事務局
- 外国人向けに情報発信を行いたいという意図か。
- それもあるが、若い人たちはインターネットで検索して店を探す。そのような消費者の目に留まるための取組を商店街として行っていけば、商店会に加入するインセンティブにもなるのではないか。最近、30歳代ぐらいの若い世代の出店が目立つが、若い商店主は商店会活動に関心はないが、まちづくりには関心がある。そういう人たちを組織に取り込んでいくことにもつながるのではないか。
- 今後、キャッシュレス化が進むので対応が求められる。そのための支援を区として行う必要はないか。
- A I などの問題意識はビジョンにも位置づけている。情報発信についても「方針4 魅力にあふれた商店街づくり」と「方針5 地域資源を活かしたまちの魅力の向上」で施策として位置づけているが、先進的な内容を取り上げるかどうかは検討させていただきたい。
- インターネット上での情報発信は大事なことであり、活用次第では大きな効果を生む。商店会向けには補助があるようだが、個々の事業者のホームページ作成に補助はないのか。
- 個々の事業者に対する補助はない。区としては、製造業に限定されるが、区のホームページに事業者データベースがある。それによって事業者の信用が得られるという話も聞く。
- 以前は個々の事業者のホームページ作成にも補助があったと思う。
- あらためて補助を出してもよいのではないかと思う。
- プロモーションの補助も個々の事業者に対しては行わないのか。
- 商店会単位となっている。
- ホームページ作成については、スマートフォン対応の画面を作成することを促すといった取組は考えてもよいのではないか。パソコンのブラウザにした対応していない場合が多いと思われる。
- 人材不足への対応については、区の事業者データベースのなかで求人情報を発信してもよいのではないか。区のホームページであれば検索上位に表示されると思うので、効果があると思う。
- 「方針2 地域産業の維持・発展」の「取組の方向性(2) 事業者の情報発信支援」でいうホームページの充実というのは区のホームページということか。
- そのように理解していただきたい。
- 個々の事業者のホームページ作成については東京都が補助を出していると思う。
- 創業期の補助金はホームページ作成に使うことはできる。いただいた意見を

- 踏まえて検討したいが、補助金の創設には時間がかかる。人手不足のように事業所に共通する課題への対応として考えていきたい。
- 会長
事務局 販路拡大の取組のなかに位置づけることもできるのではないかな。
展示会などへの出展については個々の事業所に対する補助があるのは事実だ。
- 委員
事務局 プロモーションに必要なハードを導入することへの補助はあるのかな。
プロモーション事業はイベントを中心に考えているが、ハード導入とはどのようなことかな。
- 委員
事務局 キャッシュレス化への対応は機器の導入に相応の投資が必要となるが、その支援は考えているのかな。
個々の商店での取組というよりも、区商連や商店会単位での取組に対して区がどのように連携していくのかを考えないといけない。そのためにはビジョンのなかで問題意識として挙げておいた方がよいと考えている。
- 委員
事務局 このビジョンが議会などで承認されれば、事業を進める上での予算も確保できているということなのかな。
ビジョンとして決定したとしても予算の裏付けがあるわけではない。単年度ごとに予算を確保していかないといけない。ただ、もちろんビジョンに位置づけられていることで、予算化しやすくなる面もあると理解いただきたい。
- 委員
事務局 「方針1 地域産業の担い手の育成・確保」に、仕事をする場所としての魅力を発信することを記載していただきたい。目黒区民は区内で働いていないことを踏まえると必要だと考える。
ホームページの補助金について意見交換があったが、ホームページ作成にあたってはSEO対策も必要だ。また、ホームページを作成したままになっているケースもあると考えられるので、更新やSEO対策への補助も行う必要もあるだろう。
最後にビジョンのなかでオリンピック・パラリンピックに関連してレガシー形成について言及していただきたい。ただ、現状は施策がほとんどないので、「方針5 地域資源を活かしたまちの魅力の向上」で取り上げた方が今後施策を検討しやすいだろう。
- 委員
事務局 産学連携については、どのような考え方を持っているのかな。
ヒアリングのなかでも課題が把握された。産学連携を進める上では、それ以前に事業者と大学の人的な交流が必要だと考えている。具体的な施策として位置づけられてはいないが、今後検討していきたい。
- 委員
事務局 信用金庫の顧客は高齢層が中心になるのだが、懇話会の議論では若い人を対象にすることが多いように思う。ただ、高齢のお客さんから聞く話では、若い人向けの店が増えていて、入りやすい店が少なくなっているようだ。バランスのよい商店の配置がなされるとよいと思う。
ビジョンの基本的な考え方は、若い人たちを後押しするとともに、事業の継

続を支援していくということもある。「方針4 魅力にあふれた商店街づくり」において、バランスのとれた業種の構成及び配置の検討という取組を位置づけている。

委員 基本理念のなかに「持続可能性」という言葉が使われている。安定的に事業を継続させていくという意味だと思うが、環境のための取組を進めていくと誤解されないだろうか。

環境的な取組でいうと、ビジョンのなかにあまり位置づけられてないように感じる。事業の活性化の一環として環境に対する視点がもっと盛り込まれてもよいと思う。

事務局 区では、他の部局で環境のための取組は積極的に取り組んでいる。既存の取組を参考にして、産業振興のなかでも検討していきたい。

委員 消費者の立場で取り組んでいるだけでは十分でないので、産業振興の領域でも取り組んでもらえると成果も出てくるのではないか。

事務局 前回の懇話会でSDGsについても意見をいただいた。具体的な取組として位置づけるのは難しいが、問題意識として取り上げられるか検討したい。

会長 「持続可能性」という言葉についてはいかがか。

委員 地域の産業が維持されていくということだと理解した。たとえば家賃高騰を抑えるといったことだ。まちの商業が盛んになるとテナント料は高くなるが、それは商業を営むことが難しくなる原因となり、まちの商業を壊すことにつながる。市場原理なので仕方ないことであり、具体的にできるのか分からないが、検討すべきことだとは思う。

事務局 「持続可能性」という言葉には循環的なイメージを込めているのだが、環境的な意図として理解されてはいけないので、表現について検討したい。

3 閉会